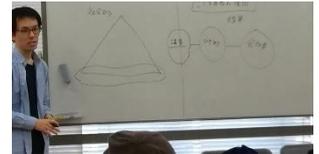


社会参加 自分探しの旅

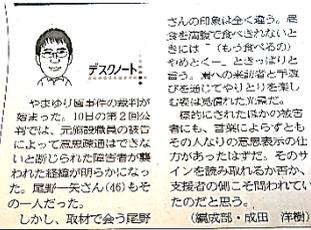
コラム風 多様なコミュニケーション 寛容と時間

会員支援者のお力をいただき1月も行政会議や講演会そして研究所3地区応援団会議に充実でした。そこでは様々な方々と出会い、人が織りなす日常が広がりと共に悩ましくもです。おらかな会員母は40歳を超えたひきこもり状態のお子さんの激しい“手洗い・入浴”に心を痛めていました。また初めてお会いした母親は、大学受験と父親の死去に立ち止まる2代のお子さんの混乱と行動変容(徘徊等)で保護や入院・闘病に疲労する日々を訴えていました。ともに切ない子ども若者の生き辛さと親の葛藤を痛感しました。

ひきこもり発信プロジェクト
講演する 新舩秀浩さん



そんな折、成田洋樹記者(神奈川新聞編成部)のデスクノート(1月15日付左下写真)が



目に留まりました。『やまゆり園事件の裁判が始まった。10日の第2回公判では、元施設職員の被告によって意思疎通はできないと断じられた障がい者が襲われた経緯が明らかになった。尾野一矢さん(46)もその一人だった。しかし、取材で会う尾野

の印象は全く違う。尾野は施設で働く必要はないと意に(もう食べるの)やめとくー」ときっぱりと言う。園への来訪者と手遊びを通じてやりとりを楽しむ姿は見慣れた光景だ。標的にされたほかの被害者にも、言葉によらずともその人なりの意思表示の仕方があったはずだ。そのサインを読み取れるのか否か、支援者の側こそ問われていたのだと思う。」との随想です。

差別とは…問いながら僕は「いじめはNO! いじめは大人の問題」と不登校に悩む子どもと親への共感を含め8年間会員等と歩んできた。しかし現状は“いじめ”を金言と誤解し逆に子どもたちを追い込む大人の姿を実感している。更に子どもの“いじめ”を大人が強化している構造を悩ましく感じている。具体的には子どもの成長発達への寛容性が大人たちに欠如している事実直面するからである。子どもが陥りやすい暴言暴力を“いじめ”と一刀両断する大人、学校に違和感を抱く不登校児童へクラス仲間を動員して大人・教師が登校促す事実を目にするからである。結果、子どもは成長発達への歪みを抱き「僕(私)なんかいなくなればいい」と肯定感を奪う現実に直面することとなる。

成田記者が言及する被告の言動は、私たち自身の内なる差別を指摘するのである。物言わぬ人は“物”と差別する、コミュニケーションは“言語”のみと誤解に陥る現代があるからだ。いじめる子の閉口、いじめられる子の無言、不登校の子の沈黙、おとなしい子の無表情、そこから始まる時間を要する対話こそが大人の知恵ではないだろうか。説得し結論を告げるのが大人の役割ではない。「子どもは分かっていない」のではない。自問自答する時間、自発性を促すことが成長を促す。被告の犯罪を問い、僕自身の内なる差別を問う時間と。(滝田衛)

それぞれの風 ○1/13(月)注 ROCKET 異才発掘プロジェクトが一区切り(5周年)、東京大学安田講堂でイベントがありました。一日目は ROCKET 関係者内での成果発表会で文字づくりの現状について急遽お話をすることに



なりました。新しい ROCKET のコンセプトブックを頂き自分のフォント制作申請書が載る(写真 P1 下)非常事態。申請は無事通過し一定の支援を頂きました。その後、成果発表会にも関わらず始めたばかりのことを発表するという「変だな」と思いながら今の信念を話し、その場で更に中邑先生にソフトウェアを申請、無事通過するということがありました。皆さん ROCKET を通じて大変成長されていて、大真としても触発されまくり。(小林大真さん N 高2年 ROCKET2期生)

注:ROCKET=Room Of Children with Kokorozashi and Extra-ordinary Talents 東大先端技術研究所 & 日本財団 ○1/25(土)「未来を拓く」は60余人のご参加を頂き感謝します。「不登校を楽しもう、不登校



は challenger 挑戦者。不登校を追い込む社会が問題です。子どもたちの声に耳を澄ます大人になりたい。」と講演しました。もう8年?小田原市教委 & 相談指導学級の計らいで継続しています。2部経験者若者との対談・語りが名言満載で凄い、1部乱入(ゲストです)のダンサー asmicro さんの踊りと語りも圧巻でした。もう僕の出る幕ではありません

トホホ。同じころ「開成町で西野博之(川崎たまりば)さんが講演」と会場の方から伺い、「迷いましたが小田原に来ました」会話に感謝(笑)。西野さん大活躍❤️最高です。(滝田衛)

○本日無事に終了いたしました。無音で冒頭のダンス(右写真)からはじめた講演会。久しぶりに地味に緊張しました(笑)。このような演題でお話をさせて頂く現場にいる時に、必ず自分の中で決めている事があります。「できるだけ、言葉に背伸びをしない。そしてカッコつけない」その



上で「絶対に踊りで説得をしよう」これはどんな規模でも自分の中で決めています。今日も緊張はしたけれど、自分らしく床を感じられたと思います。帰り道、滝田さんにお茶をご馳走になり(カプチーノと大好物アンパンとかね)色々とお話をさせて頂いた。「30代、まだまだひよこだね」今の私はこの言葉にどれだけ救われるか。そして「大半観る者は素人ですよ、その人たちの声は確実に素直に受け止めるべき。大切に」などとお話を頂いた。着実にしっかりと地面を踏みたい。ありがとうございました(asamicro 朝ごはんダンス 松井麻実さん)

○私、農業女子 PJ(プロジェクト SNS 第115回掲載)に入りました。昨年11月丸の内で開催されたジャパンハーベストで農業女子 PJ ブースに出会いました。大変なことが多い農作業(写真右)ですが、その分楽しいことも沢山あり、毎日コツコツと農業女子しています!トマトやきゅうりの定植作業で、ジムに通っていたころより筋肉がついた気がします(笑)温室なのでホットヨガや温活をしているような感じで体に良いような感じもします。秋に入ってから、トマトやきゅうりの初モノがとれはじめ、喜びを感じました!(研究所広報担当:永野亜由美さん,ヨコスカ交流クラブ)



2月予定 ○1日(土)13時~県学フリースクール等連携協議会不登校相談会 in 鎌倉深沢生涯学習センター ○6・13・27(木)16:30:たすき塾:無料学習支援スクット ○10日(月)10:30 タッキー講座第2回「子どもファースト~学校・障がい・人間関係」 in 鎌倉 Largo ○16(日)13:30 逗子応援団会議ひきこもり発信プロジェクト:新舛秀浩&ゆずり葉の会:橋本由美子 in 逗子市民交流センター ○22日(土)14時:横須賀シニア劇団「よっしゃ!!」『黒船がやってきた』(県共生共創事業 会員安川有里さん出演) ○23日(土)14時:14時:横須賀応援団会議 & 子どもフリースペース:龍崎明信 in 横須賀市民活動サポートセンター ○研究所:10.17日(月)

【発行編集:滝田衛】鎌倉市七里ガ浜東2-31-12

携帯:09072124055 ●メール: qq5656r9@happytown.ocn.ne.jp ●研究所 HP: <http://shichirigaoka-lab.jimdo.com/> ●応援団: <https://www.facebook.com/kodomowakamono.ouendan/>